

子どもがつくる多世代交流型 ZINE

団欒長屋プロジェクト

コース
初動
事業

申込内容

■事業の概要

子どもが中心となって、蛍池界隈で活躍するユニークな人たちを紹介するZINE（小冊子）をつくり、多世代交流をはかる。

■目的

—多世代でつながる子育て空間の創造—かつての長屋暮らしのように、地域全体で子どもの成長を見守り、様々な世代の『困った』と『得意』をつなげる拠点となって、世代間の互助的でゆるやかなコミュニティをめざす。

■交付決定額 100,000 円
(事業予算 130,000 円)



◎活動の様子

7月26日（土）、団欒長屋プロジェクトでは、子どもがつくる多世代交流型 ZINE「だんらんしんぶん」第2号に掲載するための取材を行いました。取材先、グループ分け、役割分担、インタビュー項目など、子どもたち自身が話し合いで決めて取材へ向かいます。今回の取材先は、「蛍池バル」と「地域のラーメン屋さん」の2箇所。5年生1人、2年生2人、1年生4人の子どもたちは2つのグループに分かれて出発しました。

インタビューでは、「蛍池の一番好きなところは」「落ち着く場所はどこ」と個人的なこともズバッと質問していきます。メモをとり、取材をしっかりとっていく高学年の子とは対照的に、写真を撮り、似顔絵を描く役割の低学年の子たちは、用意した質問ができたことでもう満足な様子。取材後、大人のスタッフが子どもたちに気づいたことを聞いていきました。次回（8月23日）は、各自担当の紙面に今回取材した内容を記事にします。



「娘は友達とも大人とも話ができるのでここに来るのを楽しみにしています。私たちだけではできない色々な経験をさせてもらえて、親としてとても助かっています。」と東豊中に住む子どもの父親。

代表の湧上桃子さんは「地域の人たちと交流するためのツールとして ZINE を作っています。好奇心旺盛な子どもの『おもしろい！』がそのまま伝わる紙面を作りたいです。」と子どもの自主性を大切にしている団体の思いを話しました。



◎今後の予定（平成26年度） 子どもによる多世代交流型 ZINE「だんらんしんぶん」

8月第2号発行 10月第3号発行 12月第4号発行 2月第5号発行

◎リンク [▼団欒長屋プロジェクトホームページ](#)